

平成25年1月16日開催 地域おこし協力隊員と知事との意見交換会（県政ランチミーティング）における主な発言・意見内容について

1 開催概要

- ・開催日 平成25年1月16日（水） 11時30分から12時45分まで
- ・会場 長野県飯田合同庁舎
- ・参加者 南信地域6町村で活動する地域おこし協力隊員 10名
- ・懇談のテーマ『地域おこし協力隊員から見た自分が暮らす地域の魅力と可能性』

2 意見交換における発言・意見の概要

（1）農山村への移住について

（知事の発言）

・農山村の景色など、金銭には換算できない価値観に立つことが大切で、都会化・効率化を進めても幸せな社会にはならないのではないかと。村に入って地域の人達と暮らすことが幸せだという考え方が多数派となるためにはどうすればいいか。

（参加者の発言・意見の概要）

- ・若い人はつながりを求めるようになっていて、地域の自治会に入って活動することを好む人が多くなっている。
- ・移住や農業を希望する人が増えているが、現状は村に紹介できる空家や畑がない。村として、受け入れる場や仕事ができる場を設ける仕組み作りが必要。
- ・自治体単位ではなく、協力隊員同士が横の連携をとっていけば、雇用も仕事も自分達で作り出せる。
また、協力隊員の能力を生かせるよう、コーディネート的なことを行う必要がある。

（2）地域の課題・問題点と活性化について

（知事の発言）

- ・長野県の推計人口は今後20年間で約30万人減る見込みとなっている。高齢化や人口減少が進む中で、どうすれば地域が元気であることができるか。
- ・協力隊の皆さんがいることが地域の起爆剤になっている。隊員同士の横のつながりを継続できるような仕組みづくりが大事。また、協力隊員と県が一緒になって何かできないか。

（参加者の発言・意見の概要）

- ・新しいものばかり作り続けることが地域おこしとは思わない。各自治体で使われていない人や資源、施設などをうまくリンクさせていくことが大切。
- ・人口が半分になっても維持できる村づくりを考えることが必要であり、自分の役目も人口が半分になっても元気でいられる土台を作ることだと思っている。

3 問合せ先

総務部市町村課地域振興係

電話 026-235-7139

FAX 026-232-2557

E-mail s-shinko@pref.nagano.lg.jp